

叱り方診断テスト

A 道徳性のための叱り方

- (1) 家のだいたいなものを勝手にもち出したとき、どうしますか。
a、きびしく叱る b、軽く叱る c、理由を説明してよく注意する
- (2) ふすまや壁に落書きしたとき、どうしますか。
a、きびしく叱る b、軽く叱る c、放っておく
- (3) 不注意で人のものをこわしたとき、どうしますか。
a、きびしく叱る b、放っておく c、あやまらせるよう、軽く注意する
- (4) 乱暴なことばや下品なことばを使ったとき、どうしますか。
a、きびしく叱る b、そういうことばを使わないよう軽く注意する c、放っておく
- (5) お客さんに挨拶できないとき、どうしますか。
a、きびしく叱る b、軽く注意する c、放っておく
- (6) 友だちにオモチャを貸してやらないとき、どうしますか。
a、きびしく叱る b、注意して貸すようにいう c、きびしく叱って貸させる
- (7) 人のものを盗んだとき、どうしますか。
a、きびしく叱る b、注意して事情を調べる c、きびしく叱って返させる
- (8) うそをいったとき、どうしますか。
a、きびしく叱る b、注意して事情を調べる c、放っておく
- (9) きょうだい喧嘩をしたとき、どうしますか。
a、上の子を叱る b、事情を聞いて悪い方を叱る c、みないふりをして放っておく
- (10) オモチャの後片づけをしなかったとき、どうしますか。
a、きびしく叱ってやらせる b、軽く注意していっしょに片づけてやる c、放っておく

おく

B 安全教育のための叱り方

- (1) 道路などの危険な場所で遊んでいたら、どうしますか。
a、きびしく叱る b、軽く注意する c、放っておく
- (2) 車道を通ったり、歩道の左側を歩いたりしたら、どうしますか。
a、きびしく叱る b、軽く注意する c、放っておく
- (3) 自動車が通っていないとき、信号を無視して交差点を渡ったらどうしますか。
a、きびしく叱る b、軽く叱る c、放っておく
- (4) 火遊びをしたらどうしますか。
a、すぐその場できびしく叱る b、あとで父親に叱ってもらう c、軽く注意する
- (5) ひとりで川や海辺など危ないところへ遊びにいったらどうしますか。
a、きびしく叱る b、軽く注意する c、放っておく
- (6) 工事現場などを、子どもたちだけでみにいったらどうしますか。
a、きびしく叱る b、軽く注意する c、放っておく
- (7) 電気アイロンなど危ないもののそばで遊ぶとき、どうしますか。
a、きびしく叱る b、軽く注意する c、子どもの遊ぶようなところで使わない
- (8) 刃物をもって遊ぶとき、どうしますか。
a、きびしく叱る b、軽く注意する c、きびしく叱って刃物を片づける

- (9) 友だちにけがをさせたとき、どうしますか。
 a、きびしく叱る b、軽く注意する c、原因を調べて注意する
- (10) 犬や猫など、動物に石を投げたりしたとき、どうしますか。
 a、きびしく叱る b、軽く注意する c、放っておく
- C 基本的習慣のための叱り方
- (1) ごはんをこぼしたときどうしますか。
 a、きびしく叱る b、軽く注意する c、親があと仕末してやる
- (2) 食べ物のすききらいをいって、食べなかったとき、どうしますか。
 a、きびしく叱って食べさせる b、軽く注意する c、きらいなものは無理に食べさせない
- (3) テレビをみながらグズグズ長時間食事をするとき、どうしますか。
 a、そのままにしておく b、テレビと食事の時間を別々にする c、叱ってテレビを消してしまう
- (4) おやつを、きめられた時間以外におねだりしたらどうしますか。
 a、叱ってきまった時間以外絶対に与えない b、欲しければいつも与える c、きめられた時間まで待つようにする
- (5) おねしょをしたときどうしますか。
 a、強くおしりをたたいて叱る b、ことばで強く注意する c、やさしく、これから注意しましょうねという
- (6) 排便のあと手を洗わなかったらどうしますか。
 a、注意して洗うようにさせる b、放っておく c、叱って洗わせる
- (7) 夜、なかなか寝ないときどうしますか。
 a、きびしく叱って寝かせる b、静かにして、寝るような雰囲気をつくる c、眠くなるまで放っておく
- (8) 遊びに夢中になっておもらしたとき、どうしますか。
 a、きびしく叱る b、これからしないように軽く注意する c、だまっている
- (9) 遊びで洋服をよごしたときどうしますか。
 a、きびしく叱る b、これからしないように軽く注意する c、軽く叱る
- (10) ぬいだ靴をそろえないとき、どうしますか。
 a、きびしく叱る b、軽く注意する c、放っておく

採点のしかた

得点は、次の表によって計算します。各領域の合計点を出して、総合診断をしてください。

C 基本的習慣

問題 \ 答	a	b	c
1	1	2	0
2	0	2	1
3	0	2	1
4	1	0	2
5	0	1	2
6	2	0	1
7	1	2	0
8	0	2	1
9	0	2	1
10	1	2	0

B 安全教育

問題 \ 答	a	b	c
1	2	1	0
2	2	1	0
3	2	1	0
4	2	0	1
5	2	1	0
6	2	1	0
7	1	0	2
8	1	0	2
9	1	0	2
10	1	2	0

A 道德性

問題 \ 答	a	b	c
1	0	1	2
2	1	2	0
3	1	0	2
4	0	2	1
5	0	2	1
6	0	2	1
7	0	2	1
8	1	2	0
9	0	2	1
10	1	2	0

診断のしかた

各領域ごとの合計得点を出したら、次のように、あなたの叱り方の良否を診断します。

A 道徳性

- 0～8点 あなたは子どもの心理や発達を考えないで、少し叱り方がきびしすぎる
 9～15点 あなたの叱り方はだいたいよろしい
 16～20点 あなたは子どもの心理や発達を理解して、叱り方は正しい

B 安全教育

- 0～3点 子どもの生命を守り、善悪に対する判断力を正しくつけるために、もっときびしく叱るべきである。
 4～15点 あなたの叱り方は少し甘すぎる。生命を守るために、もう少しきびしくしなければならぬ。
 16～20点 子どもの生命を守り、善悪の判断を正しくしつけるための叱り方としてよろしい

C 基本的習慣

- 0～8点 あなたは子どもに必要な生活上の基本的習慣のつけ方がルーズである。もう少しきびしく叱ってしつけるべきである

9～15点 あなたの叱り方はだいたいよろしい

- 16～20点 あなたは単に子どもを叱るだけでなく、基本的習慣をうまくしつけるために望ましい方法をとっている。

じょうずな叱り方 十力条

あなたの叱り方はよかったですでしょうか、悪かったですでしょうか。子どもの性格は幼児期の叱り方、しつけ方のじょうず、へたで、かなり変わってきます。そこで、じょうずな叱り方について説明しましょう。

- 1、生命に危険があるときは強く叱りましょう。道路上やドブで遊んだり、火遊びをしたり、刃物をもって遊んだりしたときは、遠慮なく叱ります。
- 2、すぐその場で叱りましょう。小さい子はすぐその場で叱らないと、朝あったことは夜叱っても忘れてしまっていて効果がありません。
- 3、家族のものみんなで統一して叱りましょう。同じ危険なこと、いたずらをして、家族内で叱る人、放っておく人、叱る人をさらに他の人が叱るようでは、しつけはできません。母親、父親、祖母などがみんな意見を統一しておく必要があります。
- 4、ほめて叱りましょう。頭ごなしに強くしからないで、よい面をいちどほめてから叱るようになります。効果がありません。

5、しつけは例外がないほうがよろしい。お客さんがいるとか、疲れているなどで、例外を多くつくって同じ失敗や悪いことでも叱らないと、うまくしつけはできません。

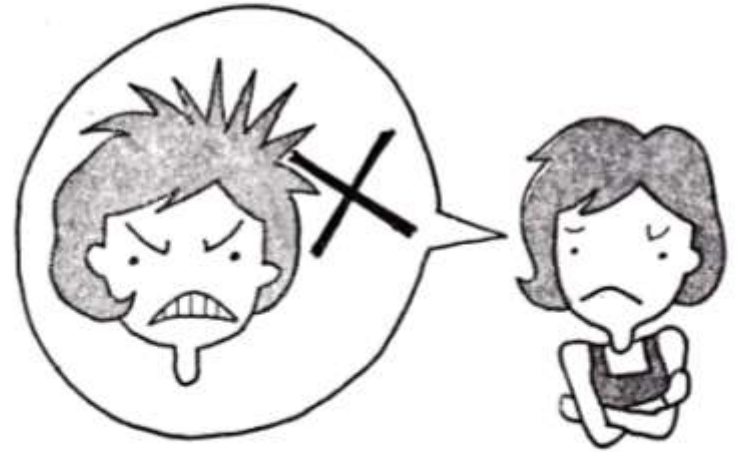
6、感情的に叱らないようにしましょう。カーッと頭にきて、叱っているほうがなんのために叱っているのかわからないような叱り方はよくありません。叱るのが目的でなく、悪い行為を改めさせるのが目的であることを忘れないようにします。

7、五、六歳以上になったら暴力はやめてことばで叱るようにしましょう。子どもにも意志や感情があります。二、三歳のころはおしりや手をぶって、ときにはきつく叱ってしつけることも必要でしょうが、五、六歳になったら、悪い理由を説得するようにきちんと説明しながら注意します。

8、だからだいたいつまでも叱らないようにしましょう。叱ったあとはさっぱりします。だから長く叱られていると、なにを叱られているのか子どもにわからなくなってしまいます。

9、食前には叱らないようにしましょう。食前の苦言、叱責は食欲をなくし、気分的にもっともよくありません。特に、食べ物を禁止したり、制限するのは反抗心を起こさせるだけです。

10、常に強い愛情をもって叱りましょう。憎しみをもって叱るのではなく、子どもかわいさによって叱るのです。常に愛情と誠意をもって子どもに接していれば、効果もあり、子どもの性格もよいほうに伸びていきます。



感情的に叱らないように